

授業科目 臨床血液学実習 I

【担当教員名】 大山 富三		対象学年	3	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 血液検査の測定原理やその臨床的意義を理解し、得られた結果から血液疾患を類推できる技術を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 安全かつ正しく採血を行うことができる。 2. 手法から基本技術をマスターする。 3. 血球を正確に観察できる。 4. 血球を観察し正しく分類・判定できる。 5. 各種検査の原理及び臨床的意義を説明できる。 6. 検査の基準値を列挙できる。 7. 検査結果から疾患を分類・類推できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-2	末梢血薄層塗抹標本作成			1-2	講義・実習
3-6	末梢血普通染色標本作成および観察			2-4	講義・実習
7-8	赤血球数算定・Hb 濃度測定・Ht 値測定および赤血球指数			2-7	講義・実習
9-10	超生体染色（網赤血球）標本作成および観察			2-7	講義・実習
11-12	白血球数算定・好酸球数算定			2-7	講義・実習
13-14	ペルオキシダーゼ染色標本作成および観察			2-7	講義・実習
15-17	アルカリホスファターゼ染色標本作成および観察			2-7	講義・実習
18-20	エステラーゼ染色標本作成および観察			2-7	講義・実習
21-22	赤血球抵抗試験・赤血球沈降速度			2, 5-7	講義・実習
23	自動血球計数装置操作			5-7	講義・実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査学講座 血液検査学第3版	奈良 信雄 他	医歯薬出版	2010・5,400円＋税
参考書		血液細胞アトラス 第5版	三輪 史朗、渡辺 陽之輔	文光堂	2005・9,000円＋税
その他の資料		プリントなど配布の資料			
【評価方法】 レポート(20%)、定期試験(80%)。 なお、欠席の場合にはレポート提出を認めない。			【履修上の留意点】 上記「授業計画」の項目順序が変更になる場合もあるので、予め承知しておいて欲しい。 実習に相応しい容姿・態度で臨むことと、実習はやり直しがきかないので欠席しないこと。 観察の際にスケッチブックと色鉛筆が必要となる。		